

PK大会&スペシャルマッチ 大人気YouTuberとサッカー対決

福智町を拠点に活動するサッカークラブチーム「VIVA!CALCIO」が12月4日に、YouTuberや元プロ選手など12人と行橋総合運動公園でサッカー対決を行いました。このイベントには32チームが参加し、PK大会を行った後、YouTuberチームと11人制スペシャルマッチを実施。0-2と敗れましたが会場は大いに盛り上がりました。



↑ 約4時間寒さを忘れ、笑顔がこぼれた福智町から参加した27人の子どもたち。

↓ 青空バザーでの売上は、こども食堂の今後の活動費に充てられる予定。



笑い声と優しさが集まった初の青空市

にしたがわこども食堂(金田)が10月24日に屋外バザーを開きました。寄付された衣服や日用品などをほぼ100円で販売した初イベントは、町内外から約200人が集まり大にぎわい。代表者の空閑真理代さんは「みんなの喜ぶ顔が見られてよかった。機会があれば今後も企画したい」と目を細めながら抱負を語りました。

Audi 2022年版カレンダー オーディオカレンダーふれあい塾採用

ドイツに本社がある外国車で有名なAudi(アウディ)の2022年版カレンダーに「ふれあい塾」が採用されました。「自然との共生」をテーマに、形の面白さや雰囲気など自然の中の特徴的建築物と認められ、Audi Q2(コンパクトSUV)と一緒に撮影。全国各地を周ってカレンダー撮影を行っており、筑豊地区では初めての撮影でした。



↑ Audi Q2とコラボした写真は、2022年版カレンダーの9月に掲載されています。

↓ 本職である教員としての体験談をネタにした本編前の「まくら」も大好評。



酒落利いた落語で心身不調笑い飛ばす

グリーンケア「ぺこの会」が、11月27日に豊徳会すみれ館で「笑って集中そしてリラックス」と題した落語会を開きました。教師と落語家の二足のわらじで活躍する川崎亭好朝さんが高座に招かれ、創作落語と古典落語を披露。独自性を加えた軽快な落語で、来場した約50人を笑いの渦に巻き込んでいました。

↓ 現在では、沖縄県でもなじみの薄い琉球方言の「しまくとぅば」で組踊を演じた中城村の子どもたち。



創作組踊「糸蒲の縁」 巻の伝統芸能で異文化交流

福智町の兄弟都市・中城村から派遣された南上原自治会子ども組踊塾生29人が、12月12日に地域交流センターで創作組踊「糸蒲の縁」などの上演を行いました。沖縄屈指の指導者のもとでこの日のために稽古を重ねてきた中城村の子どもたちは、210人の前で堂々の琉球舞踊と創作組踊を披露。沖縄県・中城村が誇る伝統芸能の素晴らしさを伝えました。

温泉とカレーで子どもたちの笑顔が満開

株式会社サンレーが指定管理する「日王の湯」で12月7日に初の取組となる「温泉de子ども食堂」が開かれ、子ども約30名と大人約20名の計14組が参加しました。無料で自慢の温泉とカレーライス親子で堪能できる魅力的な内容。すでに次回の開催が1月に決定するほど反響も多く、2月以降も定期的開催される予定です。



↑ お風呂上りで食欲旺盛の子どもたちもおかわり自由のカレーライスで満腹に。

↓ 事故の原因とも言われる「炭塵爆発」を小麦粉やガスバーナーを用いて実験。



紙芝居で語り伝える「方城大非常」の歴史

伊方小で12月15日に日本最大の炭鉱爆発である「方城大非常」を学ぶ授業が行われました。6年生56人を対象に授業では事故の犠牲者を祖父に持つ、語り部の白石文紀さんが、当時の様子や原因について講話。「どんな事故が発生しても必ず原因が追求され、人命が大切にされる世の中を作ってほしい」と熱い思いを語りました。